

製品名: EpCAM (15A7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10506**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.28mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	EPCAM
別名	Epithelial cell adhesion molecule; Ep-CAM; CO17A; CD326; Cell surface glycoprotein Trop-1; EGP; Epithelial glycoprotein 314; EGP314; hEGP314; KS 1/4 antigen; KSA;
遺伝子 ID	4072.0
SwissProt ID	P16422
免疫原	ヒト EpCAM の合成ペプチド

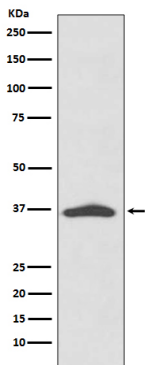
背景

上皮細胞接着活性化分子 (EpCAM/CD326) は、ほとんどの上皮細胞の基底外側表面において Ca^{2+} 非依存性の同種親和性接着を媒介する膜貫通糖タンパク質です。この抗原は、ヒト癌に対する免疫療法の標的として用いられています。粘膜上皮において、腸管上皮細胞 (IEC) と上皮内リンパ球 (IEL) 間の物理的な同種親和性相互作用分子として作用し、粘膜感染に対する第一防御線としての免疫バリアとして機能する可能性があります。胚性幹細胞の増殖と分化に関与しています。FABP5、MYC、サイクリン A、サイクリン E の発現をアップレギュレーションします。

研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



A431 細胞溶解物における EpCAM 発現のウエスタン ブロット分析。